



LIXIL

連窓方立180°

組立て説明書

- この説明書は、必ず組立てされる方にお渡してください。
- 二次元バーコードにアクセスいただくと、組立て動画をご覧いただけます。
組立て動画は、参考例になります。必ず説明書の手順を実施してください。



組立て動画

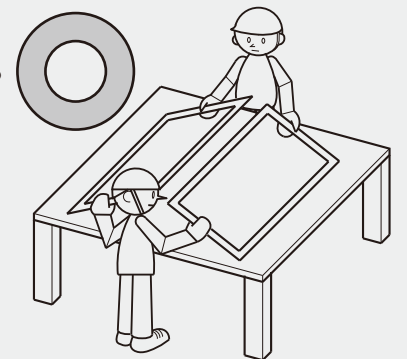
■組立てされる方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。
 - ・縦枠フィンのカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。
 - ・サーモスA 縦すべり出し窓・横すべり出し窓で且つ浴室に使用する場合、ブラケットをはずした後の穴加工はシリコン系コーキング材（別売り）で必ずシーリング処理してください。
 - ・連窓方立に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
 - ・浴室には浴室用連窓方立を使用してください。
 - ・シール材を欠損させたまま組立てたり、浮きやズレがないようにしてください。
 - ・サイズ・重量に応じて、複数人で組立て作業をしてください。
 - ・ねじ止めは、連窓方立の溝とFIX枠の溝を一致させてください。
 - ・サーモスA 縦すべり出し窓・横すべり出し窓で且つ浴室に使用する場合、ねじ固定部にはシリコン系コーキング材（別売り）で必ずシーリング処理してください。
 - ・嵌合にズレやすき間がないようにしてください。
 - ・防水テープはサッシ枠に沿って必ず圧着してください。
 - ・下部キャップは、ツメが変形していないこと、方立下部ピースに嵌合していることを確認してください。
 - ・上・下キャップの取付けには、電動ドライバーは使用しないでください。
 - ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないこと、また排水穴にすき間があることを確認してください。
 - ・排水経路を確保するため、下キャップの前面部には、シーリングをしないでください。

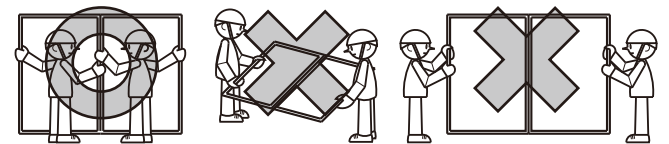


■組立て上へのお願い

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。
- 枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。
- 連窓後の取付けは、「連窓方立取付け説明書」を参照してください。
- 取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡してください。
- 反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

■組立て後の取扱いとお願い

- 組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。また、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



■連窓方立180°の種類

連窓方立180°(マド)	連窓方立180°(テラス)
【ねじ付アングル】 	【ねじ付アングル】

■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いのないよう使用してください。
※①は取付け説明書と一緒に、必ず取付けされる方にお渡してください。

①	㊦	㊨	㊩
なべドリルねじ φ4×8	バインドタッピンねじ φ4×20	皿木ねじ φ3.8×25	皿タッピンねじ φ4×12
組立て用		躯体取付け用	アングル取付けねじ

■部品一覧表

連窓用裏板	防水テープ④	防水テープ⑤	上部キャップ	下部キャップ

■組立て順序

1 連窓用裏板の取付け

●連結部上下(室内側)に連窓用裏板を入れ、枠をそれぞれ組立てます。

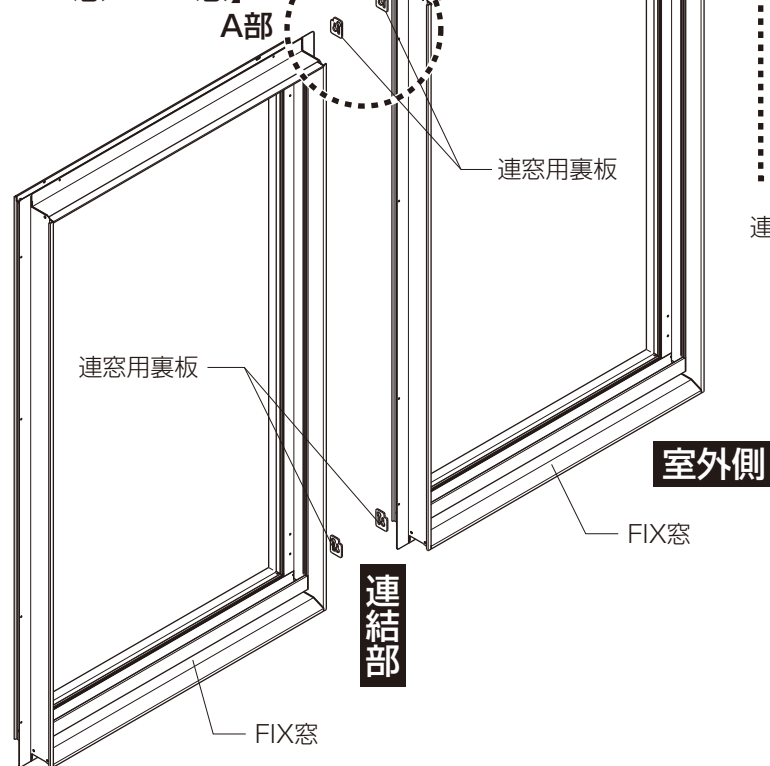
①連結側縦枠上下2ヵ所の室内側組立てねじをゆるめます。

②ゆるめたねじ頭に連窓用裏板の丸穴を引っ掛けてスライドさせ、ねじを締直してください。

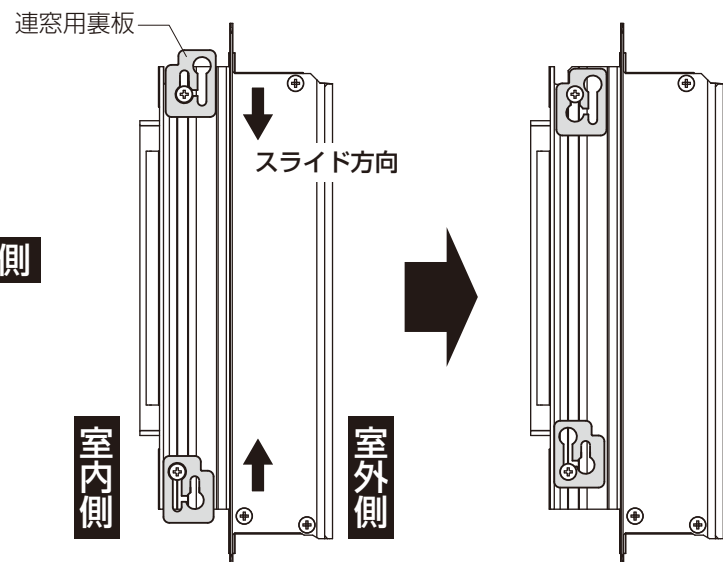
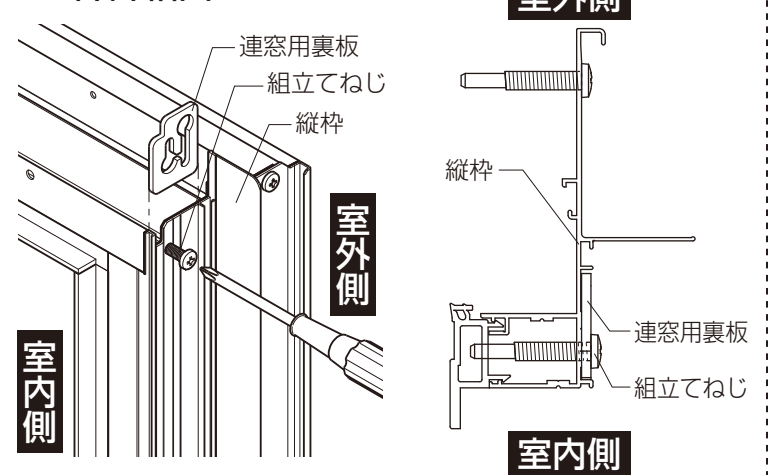
連窓用裏板は必ず矢印の方向にスライドさせるように取付けてください。

※裏板は上下、左右、品種によらず共通です。

【組立て例：FIX窓+FIX窓】



■A部詳細図

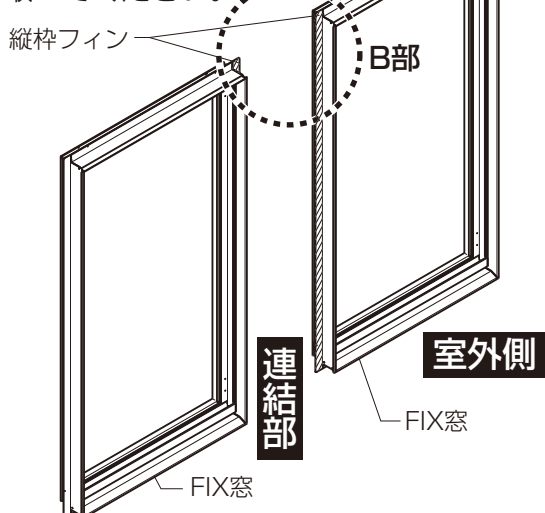


2 連結する側の縦枠フィンのカット

①連結する側の縦枠フィンのV溝にカッターで1～2回スジをつけます。

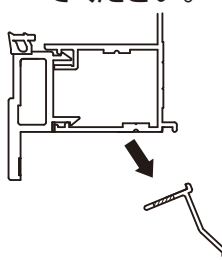
②プライヤーなどでまず▨部を、次に▨部を折り曲げながら取ります。

※縦枠上部は、カットしない部分をプライヤーなどで固定して折り取ってください。



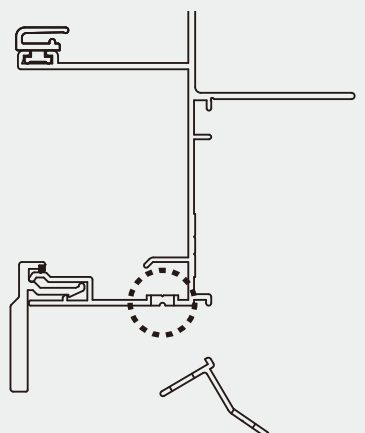
お願い

※連結部の縦枠にブラケットがついている場合ははずしてください。



▲注意

●サーモスA縦すべり出し窓・横すべり出し窓で且つ浴室に使用する場合、ブラケットをはずした後の穴加工はシリコン系コーキング材(別売り)で必ずシーリング処理してください。漏水の原因になります。

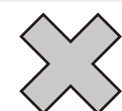


▲注意

●縦枠フィンのカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。方立部との圧着が弱くなり、漏水の原因になります。



フィン部に折れがないようにしてください。



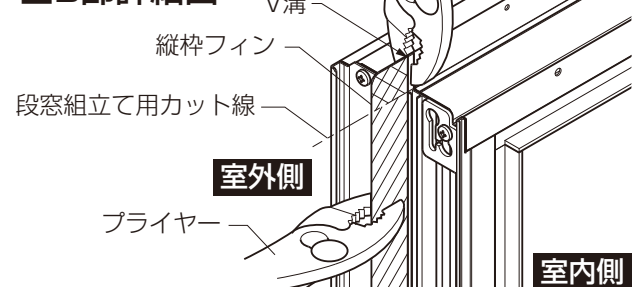
フィン部の折れ

凸凹あり

※やすりで削って面一にしてください。

フィン部の折れ

■B部詳細図



3 連窓方立との連結

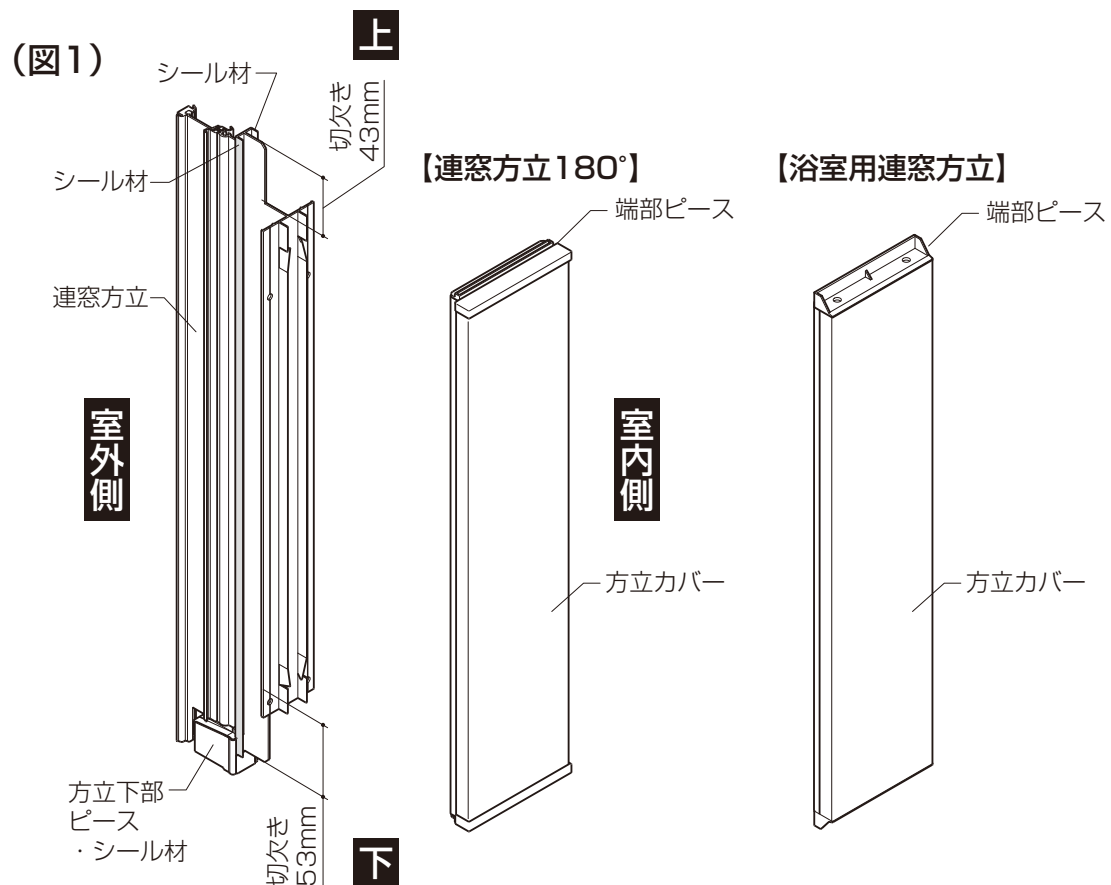
※浴室用連窓方立と仕様が違う箇所は別途記載しております。

※連結前に連窓方立の上下を確認してください。(図1)

(方立カバーに上下はありません。)

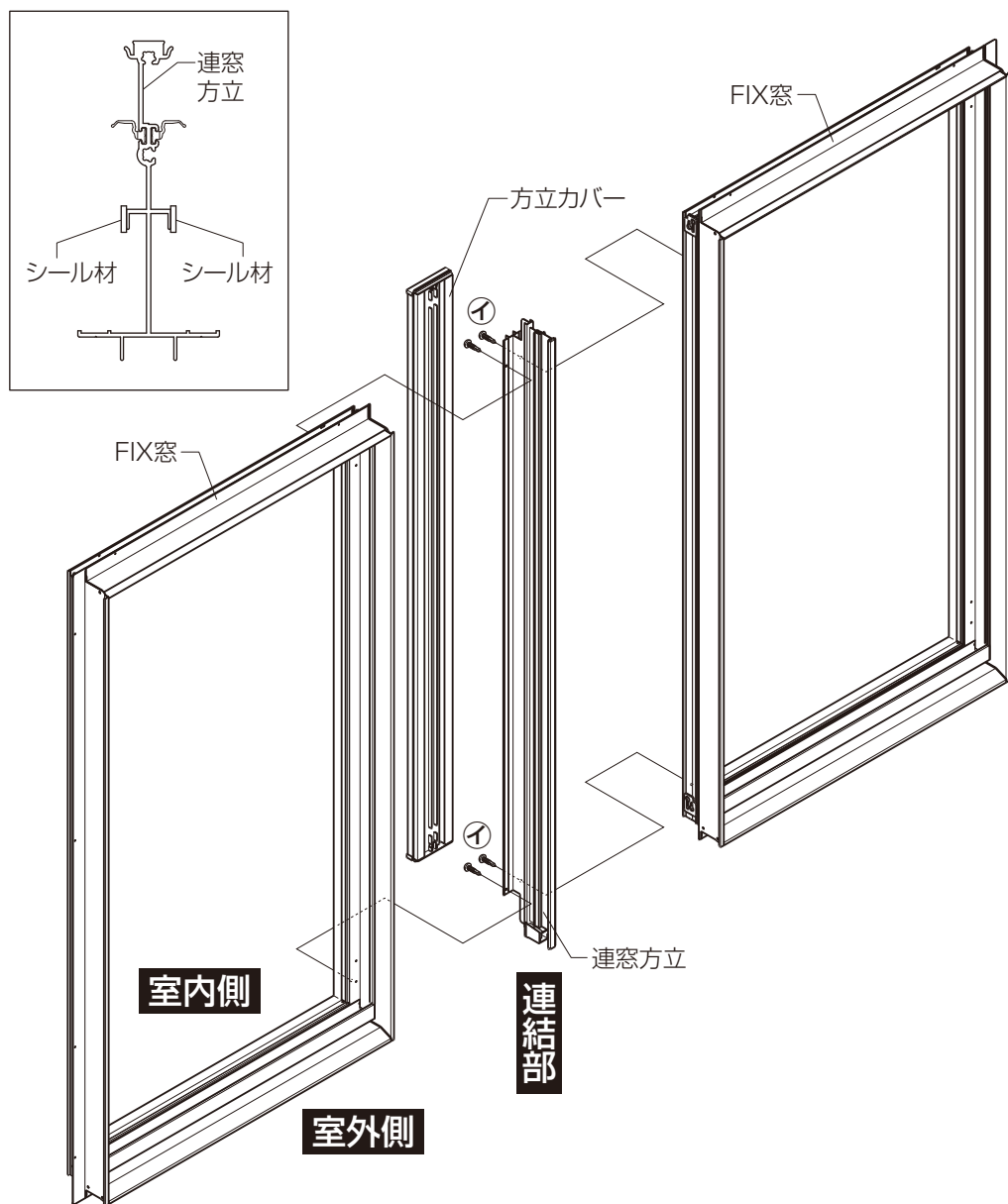
▲ 注 意

- 浴室には浴室用連窓方立を使用してください。漏水の原因になります。



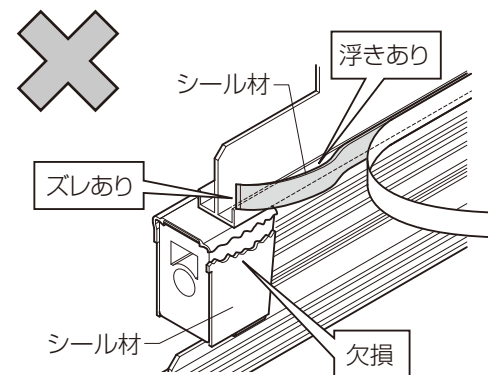
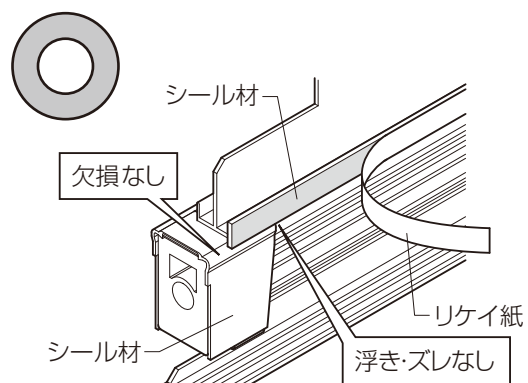
①連窓方立をFIX枠にはめ込みます。

※連窓方立に張付けてあるシール材のリケイ紙は、はがしてください。



▲ 注 意

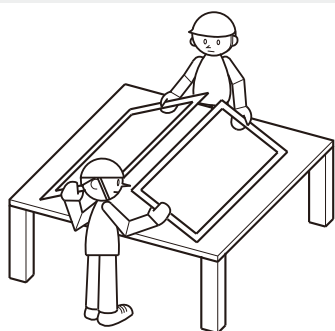
- 連窓方立に張付けてあるシール材は浮きやズレがないようにリケイ紙をゆっくり剥がしてください。また、シール材を欠損させたまま組立てないでください。漏水の原因になります。その場合は、部品を交換してください。



※部品を交換してください。

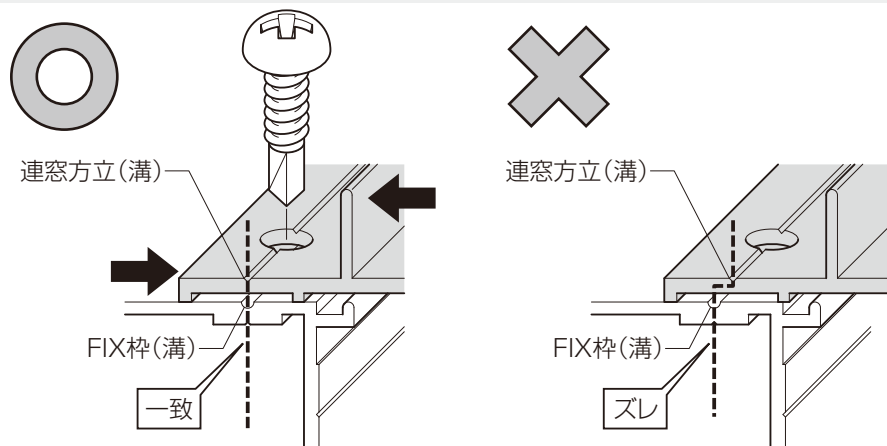
▲ 注 意

- サイズ・重量に応じて、複数人で組立て作業をしてください。漏水の原因になります。



▲ 注 意

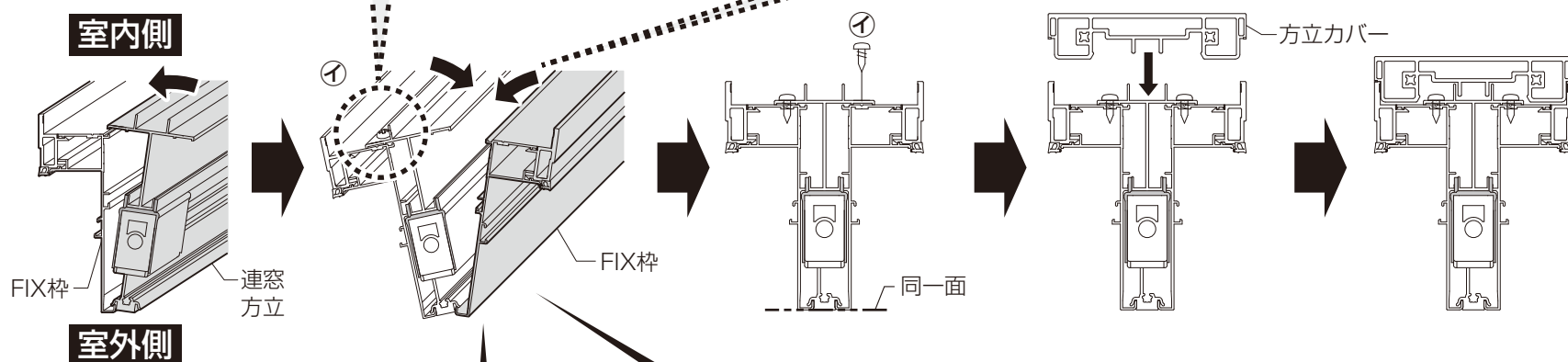
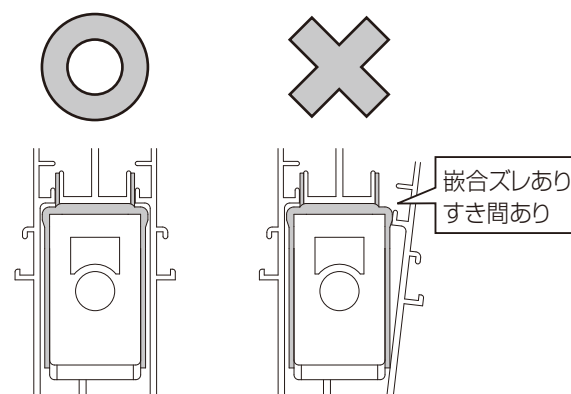
- ねじ止めは、連窓方立の溝とFIX枠の溝を一致させてください。漏水の原因になります。



- サーマスA縦すべり出し窓・横すべり出し窓で且つ浴室に使用する場合、ねじ固定部にはシリコン系コーキング材(別売り)で必ずシーリング処理してください。漏水の原因になります。

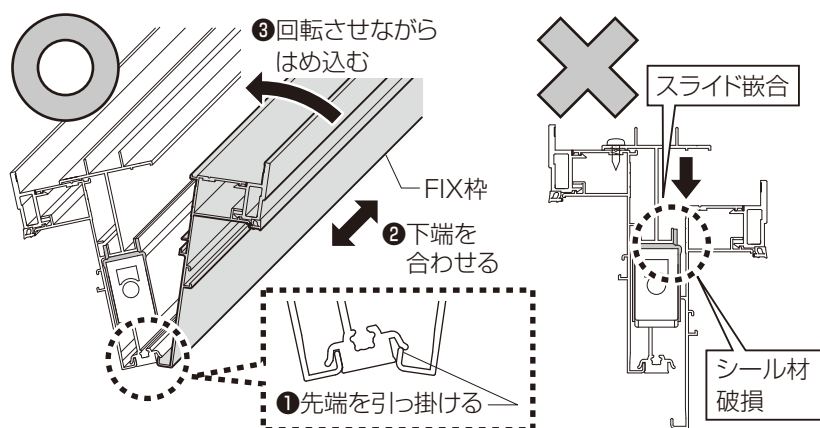
▲ 注 意

- 嵌合にズレやすき間がないようにしてください。漏水の原因になります。



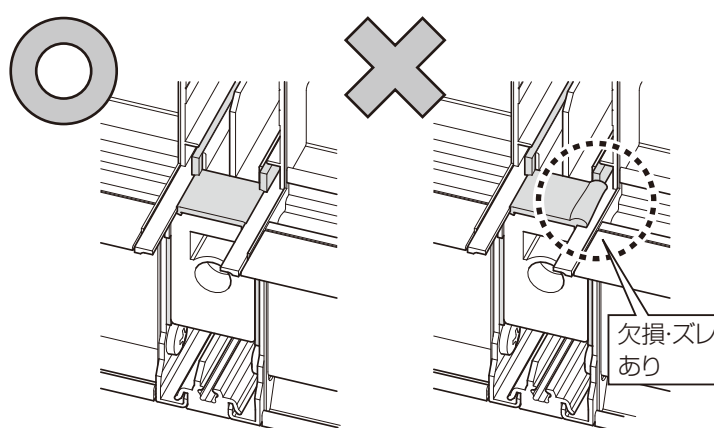
▲ 注 意

- 方立と縦枠の連結は下記の手順で行ってください。漏水の原因になります。



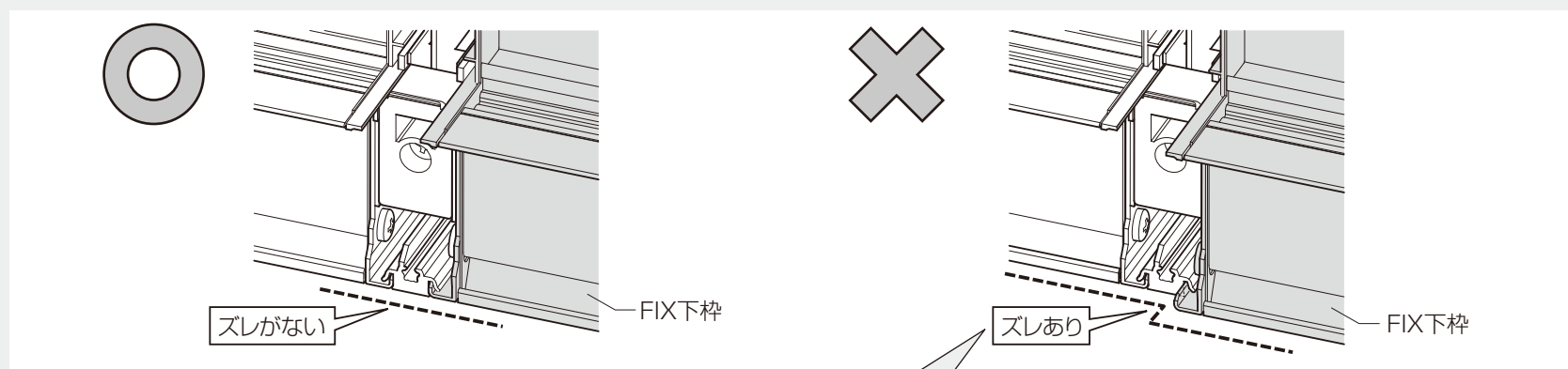
▲ 注 意

- 連結後シール材に欠損、ズレがないようにしてください。漏水の原因になります。

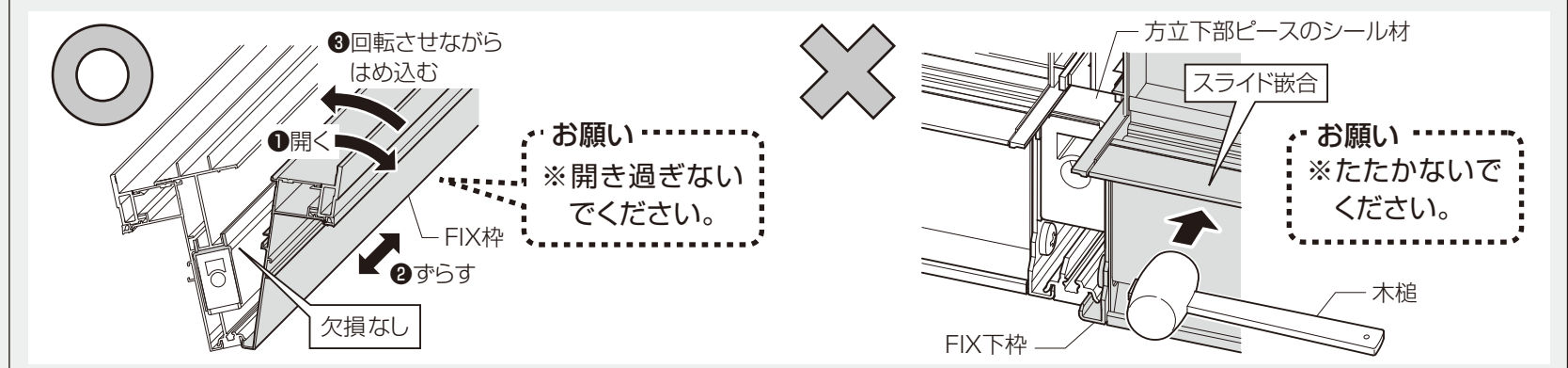


▲ 注 意

●下側を基準に嵌合にズレがないようにしてください。上下キャップ取付けの際、圧着が弱まり、漏水の原因になります。

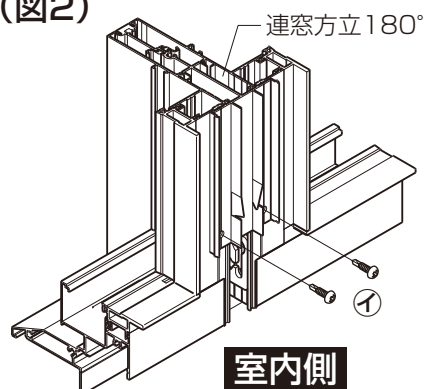


●ズレがある場合は下図の手順に従って修正してください。方立下部ピースのシール材が切れ、漏水の原因になります。

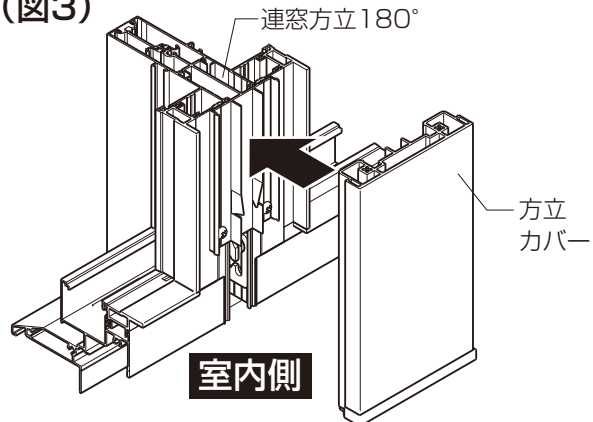


- ②FIX枠を連窓方立にはめ合わせ、下端の穴位置を合わせながら穴をすべてねじ止めします。(④のねじ)
 ※下端のみサッシ枠に下穴があいています。(サッシ枠に取付いているプッシュボタンは取外してください。)(図2)
 ※縦枠が図のような場合は、凹部(未貫通)をFIX下端の穴位置を合わせてねじ止めしてください。(図5)
 それ以外の穴はサッシ縦枠の溝に合わせて位置決めし、ねじ止めします。
 ③方立カバーは、方立カバーに取付いている端部ピースとサッシアングルの位置を合わせはめ込みます。(図3)
 ※連窓方立と連窓方立浴室用では方立カバーの取付け位置が異なります。(図4)

(図2)

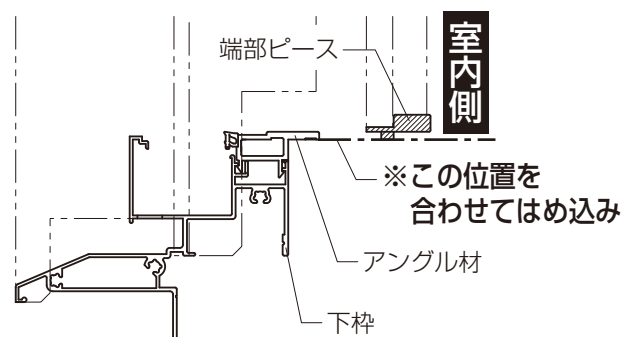


(図3)

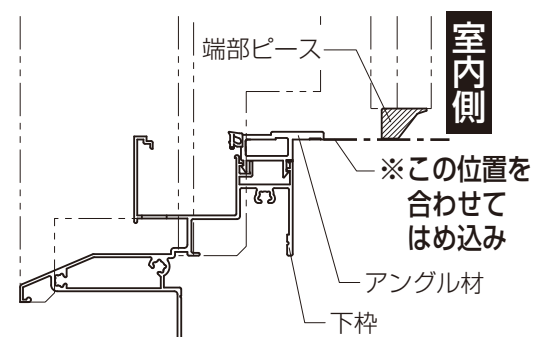


(図4)

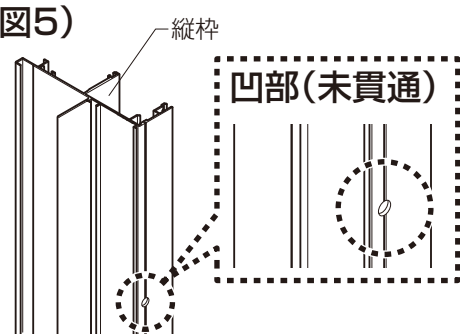
【連窓方立180°】



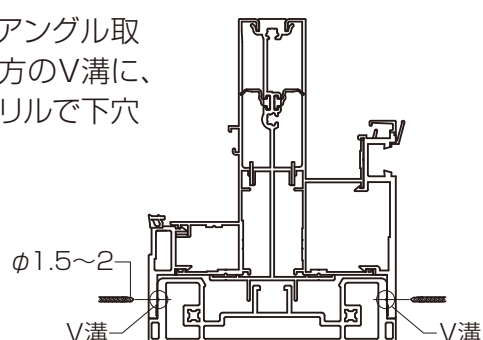
【浴室用連窓方立】



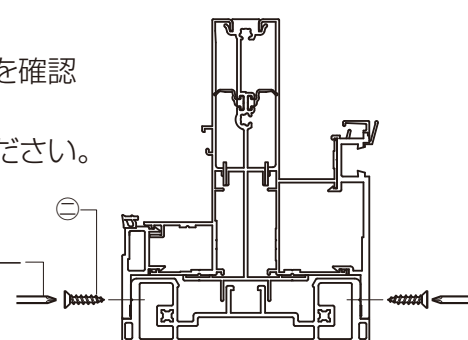
(図5)



- ④サッシ本体のアングル取付け穴から立方のV溝に、φ1.5~2のドリルで下穴を開けます。



- ⑤アングル取付けねじを取付けます。
 ※方立カバーの浮き・ガタツキがないことを確認してください。
 ※アングルねじはまっすぐにねじ込んでください。
 ※アングルねじの締めすぎに注意してください。
 形材が変形などをおこさない程度に締付けてください。



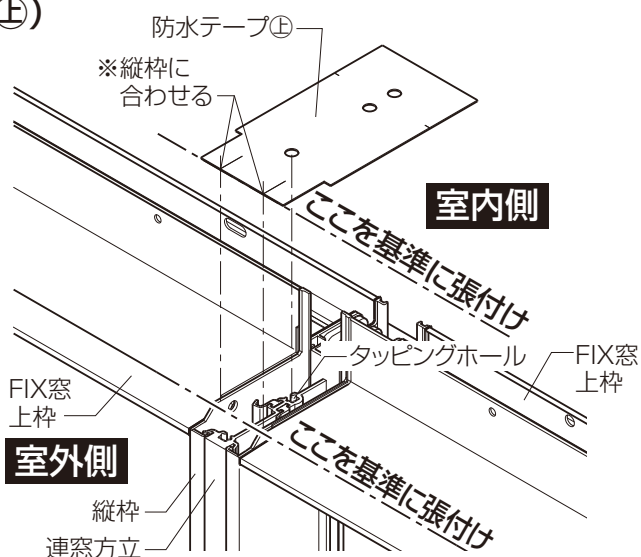
4 防水テープの張付け

●防水テープを張付け基準位置に合わせ、サッシ枠に沿って張付けます。

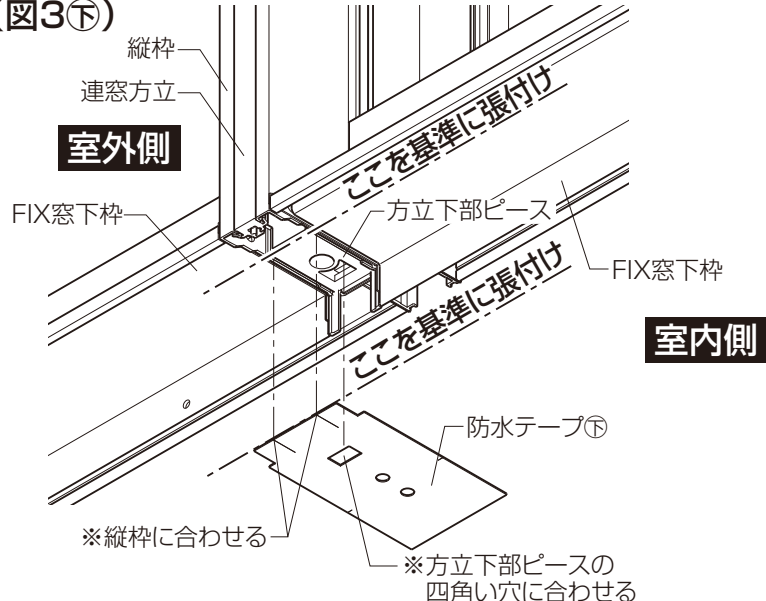
①上部は、防水テープ④を上枠先端に合わせ、防水テープ④の切込みをサッシ縦枠に合わせます。(図3⑤)

下部は、防水テープ⑥の方立下部ピース先端に合わせ、防水テープ⑥の切込みをサッシ縦枠に合わせます。(図3⑥)

(図3⑤)



(図3⑥)

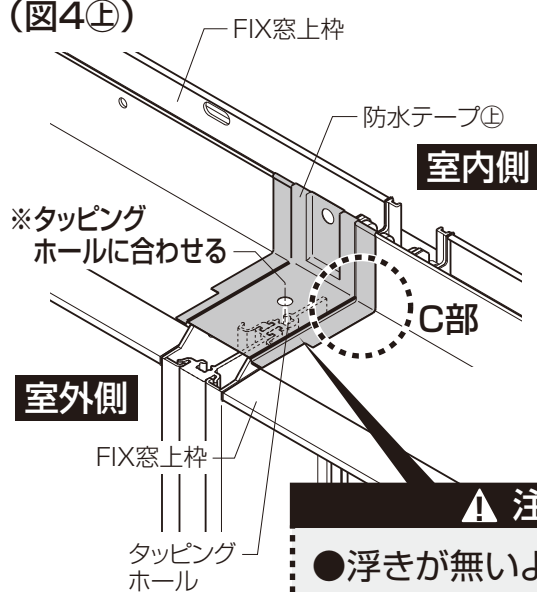


②上部は、防水テープ④の穴位置と連窓方立のタッピングホールを合わせ、サッシ枠に沿って張ります。(図4⑤)

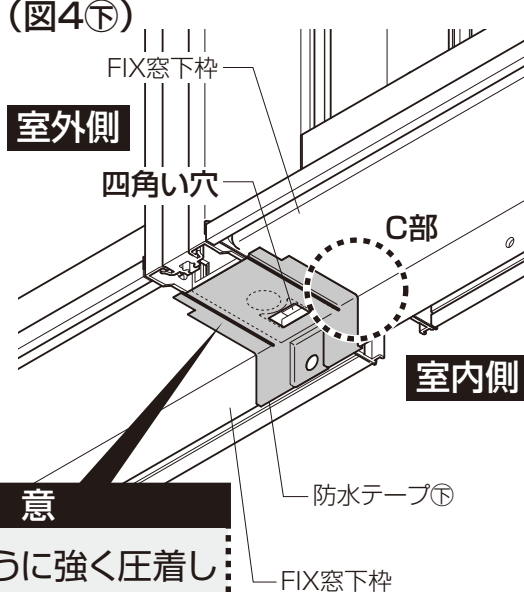
下部は、防水テープ⑥の穴位置と方立下部ピースの四角い穴位置を合わせ、サッシ枠に沿って張ります。(図4⑥)

※コーナー部は、必ず押さえてすき間があかないようにしてください。

(図4⑤)



(図4⑥)



▲ 注意

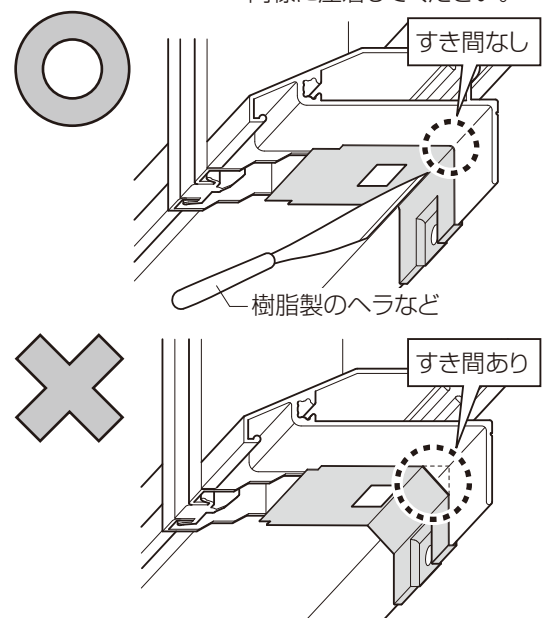
●浮きが無いように強く圧着してください。漏水の原因になります。

▲ 注意

●防水テープはサッシ枠に沿って必ず圧着してください。また、押え過ぎて切れないようにしてください。漏水の原因になります。

■ C部詳細図

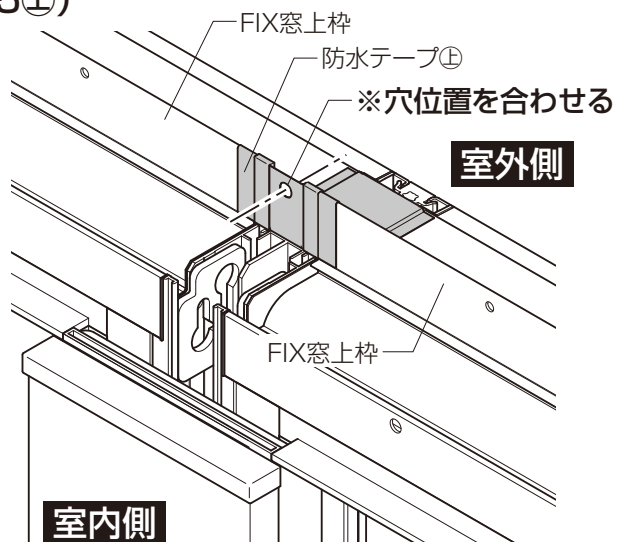
※図は下枠を示します。上枠も同様に圧着してください。



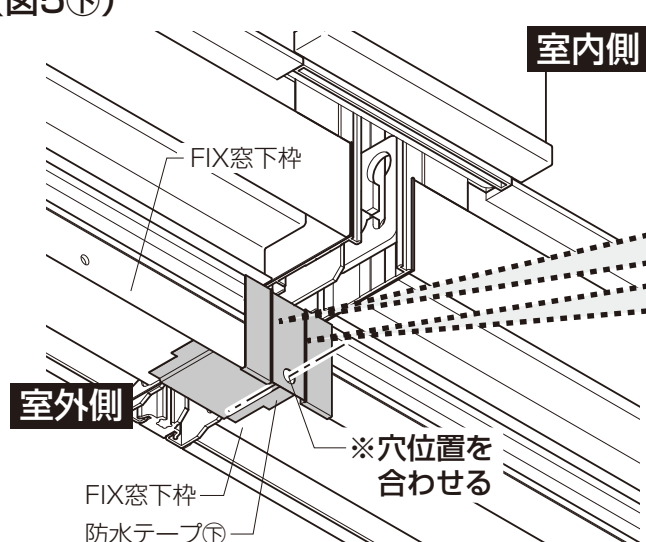
③防水テープ切込み部でフィンを取り返し、フィン裏側まで張ります。

※防水テープの2つの穴位置を合わせて折り返してください。(図5①②)

(図5①)



(図5②)



▲ 注意

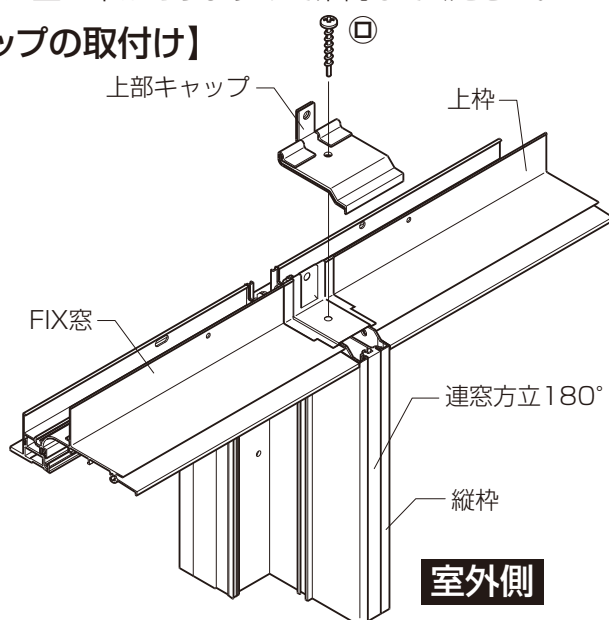
●浮きが無いように強く圧着してください。漏水の原因になります。

5 上・下キャップの取付け

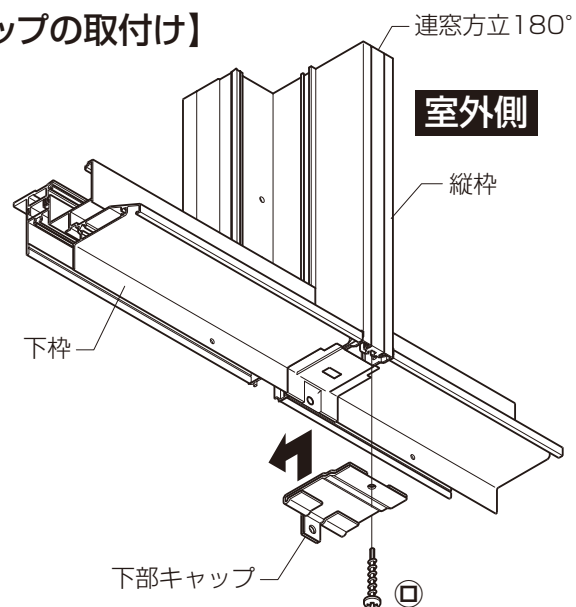
● 連結部の上・下にキャップをねじ止めします。

※ キャップには上・下がありますので確認してください。

【上キャップの取付け】



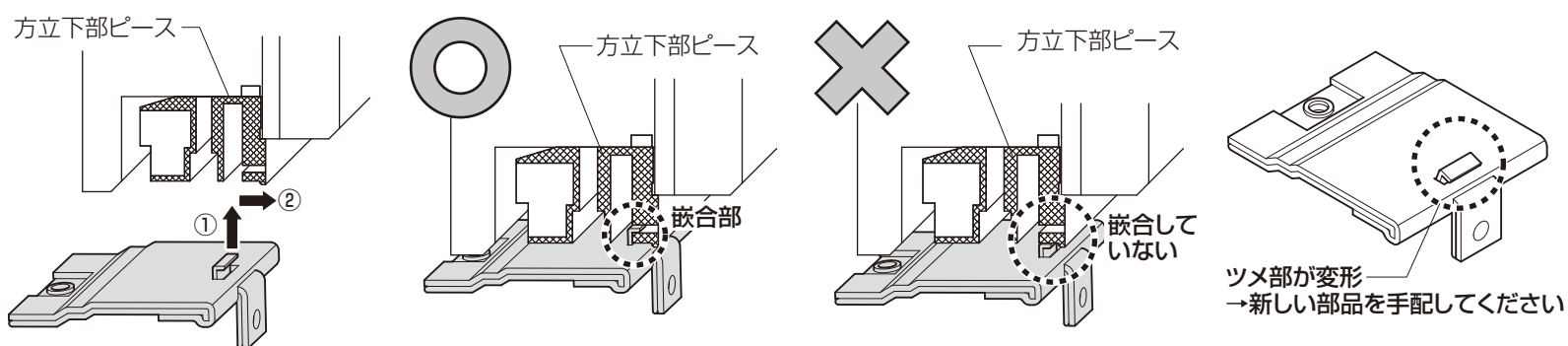
【下キャップの取付け】



▲ 注 意

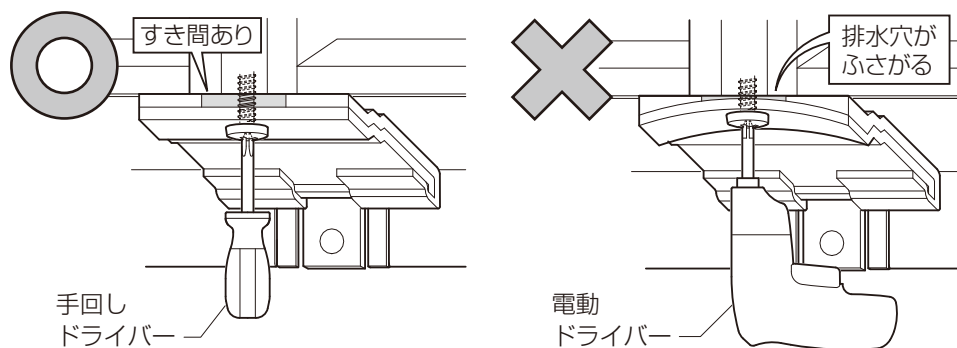
● 漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。

・ 下部キャップは、ツメが変形していないこと、方立下部ピースに嵌合していることを確認してください。



・ 電動ドライバーは使用しないでください。

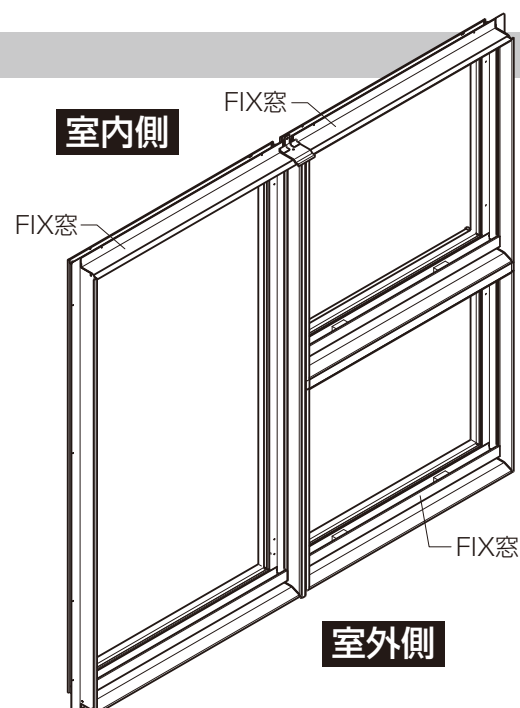
・ ねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないこと、また排水穴にすき間があることを確認してください。



■ 連段窓の場合の組立て順序

【組立て例：FIX窓+FIX窓+FIX窓】

※ 障子・ガラスは、枠を躯体に固定した後に入れてください。



1 段窓部の組立て

※詳細は、「**段窓無目組立て説明書**」を参照してください。

①連結部上下(室内側)に連窓用裏板を入れて組立てます。(1**連窓用裏板の取付け**)参照

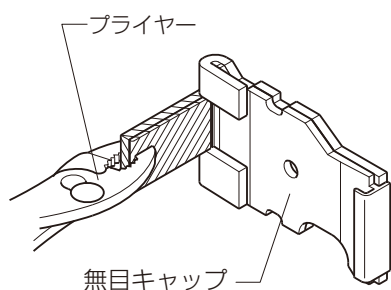
②連結部の縦枠フィンを折り取ります。(2**縦枠フィンのカット**)参照

③無目キャップの連結部のフィンを折り取ります。(D部詳細図)

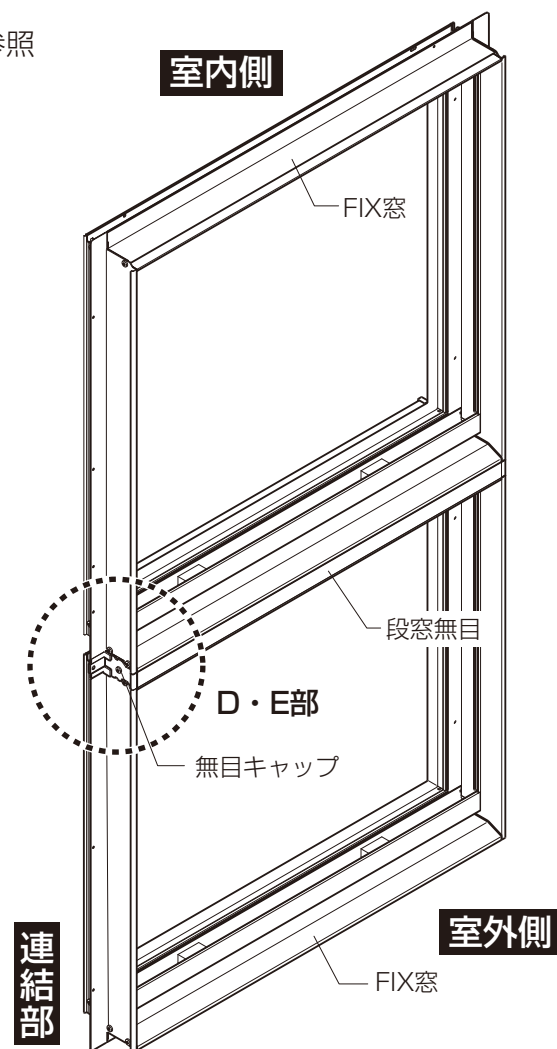
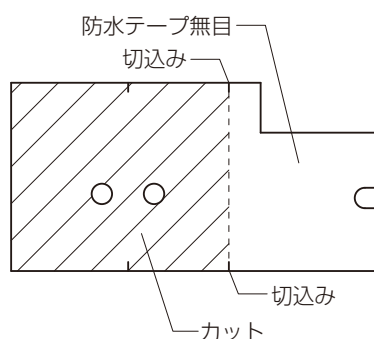
※無目キャップのV溝にカッターで1～2回スジをつけ、プライヤーなどで
部を取去ります。

④防水テープ無目の連結部をカットします。(E部詳細図)

D部詳細図



E部詳細図



2 連窓部の組立て

①組立て順序「**3連窓方立との連結**」を参照してください。

※連窓方立の穴が、F部の段窓サッシの縦枠(連結する相手部材)がない部分にきた場合、連窓方立の穴を上または下にずらして穴($\phi 4.2$)をあけてください。

②組立て順序「**4防水テープの張付け**、**5上・下キャップの取付け**」を参照してください。

